

公益社団法人  
岡山青年会議所広報誌

# 日報 録

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951



DANRYU since 1975 Anniversary 50th

## 2026年度 76代理事長予定者紹介



公益社団法人岡山青年会議所  
2026年度 第76代 理事長予定者

株式会社オオキタ・コーポレーション  
専務取締役

**大北 大士郎**  
Daishirou Ohkita

【学歴】  
2006年3月 岡山東商業高等学校 卒業  
2010年3月 阪南大学 卒業

【職歴】  
2016年6月 株式会社オオキタ・コーポレーション 入社  
2020年10月 同社 専務取締役 就任  
現在に至る

### 【JC歴】

〔岡山青年会議所〕

2018年	後期入会 会員研修委員会	委員
2019年	岡山JCプランディング委員会	委員
2020年	総務委員会	幹事
2021年	まちづくり委員会	副委員長
2022年	地域道德向上委員会	副委員長
	理事長チーフセクレタリー	
2023年	地域連携強化委員会	委員長
2024年	総務室	常任理事
	財政規則審査会議	幹事
2025年	ひとづくり室	副理事長

〔日本青年会議所〕

中国地区協議会 総務・広報・涉外委員会 委員
中国地区岡山ブロック協議会 総括幹事
中国地区岡山ブロック協議会 副会長



homepage address

<https://www.okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。  
お気軽にホームページをご覧ください。



facebook



Instagram



岡山青年会議所

検索



公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

次号は令和7年12月発行予定です。

発行日  
発行

令和7年10月  
公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email [info@jci-okayama.com](mailto:info@jci-okayama.com)  
公益社団法人岡山青年会議所  
会員拡大広報委員会  
委員長:木村勝也  
大田武勇・山崎洋介・大田原基敬・黒田勇人・増田亮治・山崎皓平・青山あゆみ

## 特別対談

# もう一つの身体が、 もう一つの居場所を作る 障がいと向き合うのではなく、関係をつくる

利他ではなく「共創」という選択。同じ旗のもとで、役割を持ち寄る。

## 遠くのあなたと「ここ」で会う 『人に会う』ってこういうこと。

OriHime（オリヒメ）は、重い障がいがあっても遠隔で“お出かけ”や就労ができる分身ロボット。この日、私たちを接客してくれたのはOriHimeパイロット歴5年のマサヒロさん。日本橋の「分身ロボットカフェDAWN ver.β」だけでなく、モスバーガー原宿表参道やEXPO2025大阪・関西万博の現場でも働くベテランです。福岡在住のマサヒロさんが卓上のOriHime越しに挨拶をしてくれて、まずはメニューと一緒に相談。オーダー後も近況トークで盛り上がり、待ち時間も楽しい。ドリンクはパイロット“ぼったん”が操縦する移動可能なOriHime-Dがテーブルへ。すれ違うときにロボット同士が一言交わす様子に、ちょっと未来を感じる。店内には曜日限定の“テレバリスタ”もいて、本格的な一杯を淹れてくれる。

これは機械ではなく“人に会う”体験。離れていても、人は人に会いに行ける。

◀その理由を、次ページで深掘りします。



## 暖流発行にあたり

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。

岡山青年会議所は、本年創立75周年という大きな節目を迎、記念式典を盛大に開催することができました。改めまして、長きにわたり岡山青年会議所の歩みを築き導いてくださった歴代先輩諸氏の皆様、そして日頃より温かいご支援を賜っております関係各位の皆様に心より御礼申し上げます。時代は移り変わり、課題は複雑を増しています。しかし、未来を担う青年として地域と向き合い、希望を紡いでいく使命は、これまでも、これからも変わることはありません。創立75周年を単なる通過点とせず、新たな出発点として、未来に向けた一步を確かに踏み出します。

私たちは、地域の皆様と共に、このまちの未来を創っていきたいと考えています。地域の課題に向き合い、子供たちや若者の可能性を広げ、笑顔あふれるまちを目指す—その思いを活動を通してお伝えし、皆様の声を力に変えてまいります。この「暖流」も、特別会員の皆様と現役メンバーをつなぎ、地域の皆様に岡山青年会議所の想いを届ける架け橋であります。今後とも、私たちの歩みに変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所  
2025年度 第75代理事長

妹尾  
愛希

**妹尾** まず、体験の感想から。ロボット越しのうちに、ちゃんと「人に会った」感じがしました。あの距離感、すごいですね。

**オリイ** ありがとうございます。実は青年会議所さんはご縁があつて、ちょうど13年前の9月に日本青年会議所の「人間力大賞」をいただきました。あの時はお世話になりました。

**妹尾** それは心強つながりですね。私は今年、岡山青年会議所の理事長を務めています。私の娘が脳性麻痺で、二年を通して、ハンディキャップがある方々への理解を深める事業を展開しています。開発のきっかけはいつ頃ですか？

**オリイ** 2010年に作ったロボットのまでもう15歳になります。原点は『孤独』でした。小中学校時代に病気により3年半の不登校・引きこもりを経験して、自己肯定感がほぼゼロでした。友達もほとんどいなかつた。それを解消したくて高校へ進み、ものづくりを徹底的に叩き込まれ、車いすの開発で世界3位の賞をいただきました。ようやく少し自信が戻ってきた頃、「孤独はどうやつたら解消できるのか」を人生の研究テーマにしよう、と決めました。生きることがつらかったと言つたら少し言ひ方が悪いですが、本当になぜ生きているんだろうかということを本気で悩んでいた。医師からは「30歳で失明するかもしない」と言われ、残り時間で逆算する感覚もありました。当時は「人間関係は苦手だから、人間は無理。AIと

話していれば孤独は解消されるのでは」と思い、人工知能の研究をしていましたが、違うと感じた。このままでは人工知能としか話せなくなると。

『人と人をつなぐ装置』『コミュニケーション能力』も補えるはずだと。これがOriHimeの出発点です。

**妹尾** 孤独の研究がやがてビジネスや社会の仕組みとして広がつていったわけですが、その転機はどこにあつたのでしょうか？

**オリイ** 20代の私は「他人に説明しても伝わらないなら、自分でやる」という方針でした。でも、自分がいなくなつたあとに仕組みを残すにはどうするか。そこで、ロンドン大学で経営を学んでいた仲間と2012年に会社を設立しました。

特許取得や製品化、寝たきりの方の雇用など小さく進めていましたが、分身ロボットカフェの構想を実現する過程で完全に一人で回せる範囲を超えていました。その時、仲間が仕事を休んでまで助けに来てくれたんです。この出来事で、0→1はいと痛感しました。それ以来、自分は0→1に集中し、1→100は任せる体制に移行しています。日本財團さんの1階で内装に600万円かけて10日間だけの店を作りました。翌年はスポンサーもついて、実験を重ね、2021年に常設

店としてオープンしました。そこからも試行錯誤の連続で、2年後に黒字化、デビューでも半年間の実験店をやりました。OriHimeバイロップもで英語を学んでくれました。ここで大事なのは、障がい者のためではなく、将来自分たちも寝たきりになるかもしれません。考えたくない

けれど、いつかそうなる。でもその後のキャリアを行こう、障がい者が働くためじやなくて、働かせてもらつているとかじやなくて、いつかそうなる

誰も考えていない。それを本気で考えることができるのが我々だと思つています。寝たきりの先にいるお客様を笑顔にする」というミッションの能力も補えるはずだと。これがOriHimeの出発点です。

**妹尾** 今日見ても、皆さんが本当にいきいき働いています。地方の彼らにとつても「こういう当事者の『重さ』」になることもある。以前、ALSの方に記事を書いてもらい、月500円のブログ支援を試したら、「自分のためにお金を出させて

いる重み」で続きました。人は「自分のためより『誰かのため』に力を使いたい生き物なんです。だから私たちは利他ではなく『共創』。同じ旗のもと、それぞれの役割を持ち寄る。やっぱり自分たる英語を使わない人生を生きてきた人たちです。でも「お客様を笑顔にする」というミッションの能力も補えるはずだと。これがOriHimeの出発点です。

03

## 関係性が価値になる時代——分身ロボットが拓く「寝たきりの先」



仕事を支える。泥臭いかもしれないけれど、青年会議所さんの世界も同じで、誰かの会社が大変なとき、「合理性を越えて支える」場面があると思うんです。それが人間の力であり、AI時代に私たちが選ぶべき価値だと思うんです。

**妹尾** この先、どんなことを形にしていきたいですか？

**オリイ** たくさんあります。我々は出会う生き物なんです。人は出会いで変わる。運の正体は縁だとと思う。同じ車両に何百人乗っていても、出会えずにはそれ違つていても、もつたないです。テクノロジーで、出会いを設計する「リレーションテック」を進めたい。コンソーシアム型で挑戦していきます。

**妹尾** 岡山店、私、営業担当りますよ。

**オリイ** (笑) ゼヒ。実は「スナック・OriHime」みたいな小さな箱も試したいんです。寝たきりの店長や「ママ」がいてもいい。これも「寝たきりの先」の一つの形だと思います。

**妹尾** すぐ共感します。岡山青年会議所でも、「普通でいい」を合言葉に、まず手を差しのべられる社会を広げてきました。子供に障がいがある、あって、僕にできることを考えてきたからこそ、支援学校の生徒たちに「新しい働き方」の選択肢をつなぎたい。岡山から変えていきます。

**オリイ** まさに今、特別支援学校の生徒さんのインターネットも始めています。英語の練習や店舗サポート、OriHime サッカーなど、まずは居場所づくりから。岡山でも、ぜひ一緒にいます。



我々は出会う生き物である。人と人をつなぐ力が、テクノロジーを動かす。

誰もが生きがいを見つけられる未来を

吉藤 オリイ Ory Yoshifiji  
奈良県葛城市出身。小学5年から中学3年まで不登校を経験。高校時代に電動車椅子の新機構を発明し、世界最大の科学コンテストで入賞。その経験から「孤独の解消」を使命に掲げ、分身ロボット「OriHime」や意思伝達装置「OriHime eye+switch」などを開発。株式会社オリイ研究所所長。2012年日本青年会議所「人間力大賞」総務大臣奨励賞、衆議院議長奨励賞受賞。2021年グッドデザイン大賞受賞。

妹尾 愛希 Yoshiki Senoo  
昭和60年生まれ。平成20年大阪産業大学卒業後、備前信用金庫入庫。平成23年に飛鳥グループ協同組合入社後、令和6年同社理事に就任。公益社団法人岡山青年会議所には平成30年に入会し、令和3年にボンティアインパクト共創委員会(委員長)、令和4年に例会委員会(委員長)、日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会拡大プランディング会議(議長)、令和5年ひづく(室)常任理事)、令和6年連携室(副理事長)を歴任。

04 DANRYU

## 防災フェスタ

災害への備えや対応についての知識を学ぶとともに、岡山の魅力ある資源を多くの方に知りたいと目的として開催しました。会場では、VRフライトシミュレーターや起震車の体験コーナーをはじめ、万博での公開が予定されていた“空飛ぶクルマ”的展示も行われ、多くの来場者でぎわいました。未来のテクノロジーと地域の力が交わることで生まれる新たな可能性を感じる機会となりました。



2024



ハイ部リッド  
～学校と地域の連携～



## 未来シティOKAYAMA

「未来シティOKAYAMA」では、マイクラフトを通じて子供たちが自由な発想で“岡山の未来のまち”を創造しました。コンテストには想像を超えるほどの力作が集まり、子供たちの柔軟な発想力と表現力に大人たちが驚かされました。次代を担う子供たちの可能性と、岡山の未来への希望を感じることができました。これからも子供たちと地域の未来を描き、実現に向けて歩んでまいります。



2023



米米ファーム 2023

## 未来へと繋がるこども塾



## 岡山の空を照らす 大花火連携プロジェクト

コロナ禍の岡山のまちを元気にしようと、岡山市内10カ所でサプライズ花火を一斉打ち上げました。密を避けるため告知は行わず、約1万1千発の花火が夜空を彩り、市民に夢や希望を届けました。地元企業82社からの協賛もいただき、翌日には山陽新聞に掲載されるなど、大きな反響を呼び、岡山青年会議所のプランディングや認知度向上にもつながりました。



2022



# JCI Okayama Projects

## 岡山青年会議所の5年間を振り返る

### スパイラルeスポーツ 桃太郎カップ



### 新桃太郎伝説

岡山青年会議所10周年記念事業として寄贈した初代桃太郎像をリメイクし、岡山桃太郎空港へ新たに寄贈しました。背景には岡山県出身のアーティスト・笹田靖人氏の代表作「龍虎」を用いたラッピングアートを施し、さらにライトアップを設置することで昼と夜で異なる表情を楽しめるようにしました。今では空港を彩るシンボルとして親しまれ、「桃太郎のまち岡山」のプランディングにも繋がっています。



2021

### 70周年記念事業

創立70周年記念事業として「自転車のまち おかやま推進プロジェクト」の一環で岡山市のシェアサイクル「ももちやり」に特別色「ももいろ」仕様30台を寄贈する式典を開催。以来、まちの魅力を発信しながら市民や観光客に広く親しまれています。また「池田動物園活性化プロジェクト」では、新たな仲間としてアミメキリンのサンタロウを迎えて、地域の子供たちに夢と笑顔を届ける存在となりました。



うらじやマンホール贈呈式



2020



2025 09.17

## 「創立75周年 記念式典・祝賀会」 開催報告

2025年9月17日(水)、岡山プラザホテルにて「創立75周年記念式典・祝賀会」を開催いたしました。式典では、これまでの歴史を振り返るとともに、卒業生の皆さまが紡いでこられた熱い想いと行動を、私たち現役メンバーが確かに受け継いでいることを再認識しました。まちづくり・ひとづくり・未来づくりへの挑戦が今後の活動につながっていることを改めて感じ、歩みを新たにする一日となりました。



© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.P170429-1



## 第30回うらじや2025輪 ニコニ晴れおかやま魂

輪が広がり、未来へ繋ぐ——40万人が熱狂した「うらじや」



### 節目の第30回を迎える「うらじや」 おかやまを盛り上げるために

ひとりでも多くの人が魅せられ、興味が湧き、参加したくなる。  
歴史に触れ、未来に繋がるまつりの開催に向けて

第30回うらじや実行委員会 実行委員長 高見宣哉



9月23日(火祝)、下石井公園にて「おかやまのまち政策アイデア甲子園2025」を開催いたしました。本事業は、大学生が主体となり、おかやまの将来を考えた政策アイデアを発表することで、青少年の社会への関心と主体性を高めることを目的とし、学生による政策アイデア発表やブース展示、主権者アドバイザーによる講演、さらにはマルシェやステージ企画など、多彩な内容で構成されました。コンテストステージでは、各学校で学生たちが真剣に議論を重ね、協力して作り上げた政策アイデアが披露されました。地域の課題を自らの問題として捉え、解決に向けた具体的な提案を形にする姿勢からは、若者ならではの柔軟な発想と真摯な探究心が伝わってきます。

学生たちの政策アイデア発表の様子と、発表資料はYouTubeで公開中です。QRコードからぜひご覧ください。



「おかやまのまち政策アイデア甲子園2025」



9月13日(土)、岡山市内の小学5・6年生70名と、車椅子を利用する20歳未満の子供たち30名を対象に「きづく!たのしむ!できる!観光体験ひろば2025」を開催いたしました。集合場所のおかやま旭川遊覧船クルーズを出発し、岡山城や石山公園周辺で、観光や職業体験を楽しむ一日となりました。本事業は子供たちがハンドディキャップの有無に関わらず協力し、「できる!」を発見することを目的としています。また、岡山青年会議所メンバーも、子供たちの体験の機会に差がある現状を知り、社会課題への関心を深めることを目指しました。当日は、子供たちが互いに声をかけながら課題を乗り越える姿が印象的でした。岡山城では江戸時代の籠籠を使

つた天守閣登城体験を楽しみ、旭川遊覧船クルーズでは、これまで桟橋の幅が狭く乗船が困難だった車いす利用者のため、航空機機内用の車いす2台を寄贈し、座ったまま安全に桟橋を渡つて乗船できるよう整備しました。さらに、障害者雇施設協力の職業体験や藍染・木材加工体験のものづくり体験も行い、子供たちはさまざまな体験に挑戦しながら、座ったまま安全に桟橋を渡つて乗船できるよう整備しました。参加した子供たちからは「協力すればできることが増えると実感した」「友達の大切さをあらためて感じた」といった声が寄せられ、互いを思いやり理解し合う心を育む一日となりました。これからも子供たちの成長を支え、地域社会に貢献する活動を続けてまいります。